



動物と出会い 人と触れ合って 心のときめきをコーディネートするために — ZOO VOLUNTEER

円山動物園
ボランティア会

ふれあい・コンタクト

ニュースレター第59号 2014(平成26)年1月10日発行 発行責任者:佐藤國男(代表世話役)
円山動物園ボランティア会 / 〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3 札幌市円山動物園経営管理課気付 TEL(011)621-1426

平成26年ボランティア会の活動がスタート

新年のごあいさつ



円山動物園ボランティア会
代表世話役 佐藤 國男

皆様、明けましておめでとうございます。

今年も皆様にとって素晴らしい年になりますよう、心からお祈りいたします。

今年は馬(午)年、園の可愛い人気者、スーパーミニホース達はイベントに引っ張りだこで大活躍中です。

私たちボランティアも新しい年を迎え、やる気満々、気合いを入れダッシュしています。

ボランティア活動は、園のご指導、ご支援により皆心を一つにして頑張っていますが、リレー方式のミニツアーガイドも軌道に乗り、来園者に大いに喜ばれていますし、全員参加で取り組む「ボランティアの日」や各班独自に取り組むイベントも年々充実し、園から多大の評価を頂いていることは真に喜ばしい限りです。一昨年、8期生(14名)がメンバーに加わり、各班それぞれ情報交換や勉強会を開くなど、活動のレベルを高める取り組みが、意欲的になされています。

生息環境が直に感じられる人気の「アジアゾーン」に続く「アフリカゾーン」が来年オープンを目指して着々と建設中です。どんな素晴らしい施設が現れるか今から期待でワクワクします。今年も新顔の珍しい動物も入ってくるでしょうし、可愛い赤ちゃんも次々誕生し、入園者を喜ばせることでしょう。

私たちも更に知識を深め、ますます内容を充実する動物園の来園者に対応しなければなりません。どうか今年一年、更なる飛躍を目指してみんなで頑張りますよう。



札幌市円山動物園
園長 見上 雄一

ボランティア会の皆様、明けましておめでとうございます。

日頃より園内のガイドツアーはもちろんのこと、団体が来園された際のガイドをはじめ、園の行う様々な事業に対し、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

ガイドを終えた町内会の方々からは、大変好評でありましたので、さらに多くの方々に活用していただけるよう、他の町内会関係の講演会や大学の授業など、様々な機会を通じてPRさせていただいているところでございます。

昨年は、アジアゾーンのオープンやホッキョクグマの双子の赤ちゃん「ポロロ」と「マルル」の公開などによりまして、多くのお客様にご来園いただくことができ、「繁殖の円山」を強く印象付ける一年となりました。

本年は、新たな施設となるアフリカゾーンの建設工事の本格化、モンキーハウスのリニューアル工事の着手など、施設の充実に取り組んでまいります。

このような中、平成25年度は、昭和54年度以来となる年間来園者数100万人の目標達成のため、残り3か月、園としても精一杯努力し、1人でも多くのお客様をお迎えしたいと考えており、新年度以降もこれを維持していきたいと考えております。

多くの皆様に円山動物園の素晴らしさを知っていただくために、ボランティア会の皆様におかれましては、引き続き来園の声掛けなど、是非ともお願いしたいと存じます。

本年もまた、どうぞよろしく願いいたします。

アフリカゾーンの建設について

今冬からアジアゾーン隣の空地部分でアフリカゾーンの建設工事がスタートしました。

平成 20 年に策定された基本計画に盛り込まれてから約 5 年目での工事開始となります。

具体的な計画は平成 23 年 5 月頃から始まり、施設（ゾーン）のコンセプトや飼育動物の選定を行い、それぞれの動物の魅力を生かすことができる展示方法の検討、動物の繁殖を見越した飼育管理面の要点の確認などを経て、平成 24 年夏ごろから本格的な設計がスタートしました。

基本計画づくりから設計においては、動物にとって良好な飼育環境の維持の観点から札幌市立大学デザイン学部の齊藤 雅也 准教授にもサポートをいただきました。

建設予定地や予算など様々な制約がある中での検討で、あきらめざるを得なかった要素も多々ありますが、可能な限り色々な『ねらい』を盛り込んでいます。

工事期間は平成 26 年度末（平成 27 年 3 月）を予定しており、その後動物の受け入れ準備・移動を行い、夏ごろにオープンできる見込みです。

次回からは具体的な計画についてご説明します。



平成 25 年度 動物脱出対策総合訓練

11 月 28 日上記の訓練が実施された。飼育展示課の職員が各持ち場に配置され、「ただ今から、動物脱出捕獲訓練を実施します」「13:30、熱帯動物館から「エランド」が脱出したので、職員は捕獲にあたって下さい」との放送が園内に鳴り響いた。脱出した「エランド」は熱帯動物館旧ゾウ舎の外側をうろついていたので、二手に分かれた飼育員グループがブルーシートを広げ、包囲するように動物を追い込み、獣医が吹き矢で射止め、捕獲網で捕らえ、訓練は所期の目的を達し、終了した。

この訓練を見学して感じたことは、動物の脱出のような危機に直面したときボランティアの立場としてどう対処すべきかです。一つは入園者の安全にどう配慮できるか。また動物園にどう伝え、指示を仰ぐかでしょう。それにしても、危機管理の意識を持つことの大切さを知りました。

ふれあい班 小熊 瞳

午年にちなんで

～シマウマとミニチュアホース～

円山動物園にいるウマ科の動物は、シマウマとミニチュアホースです。奇蹄目ウマ科は第 3 指（中指）を残して退化し、一つの大きな蹄をもっている草食獣です。胃を 4 つ持ち反芻するウシ科とは違い、ウマ科の消化は大きく発達した（約 1 メートル）盲腸にいる多くの細菌に助けられています。

歯の特徴は、上の切歯（前歯）を持たないウシ科とは対照的に切歯が上下に 6 本ずつ 12 本（♂はこれに犬歯がプラス 4 本）臼歯を 24 本持っています。さらに、毎年 3～4mm ずつ伸び続けること（草を食べるのですり減り、虫歯知らず）と、歯槽間縁と呼ばれる切歯と臼歯の間に歯の無い部分があることです。シマウマもミニチュアホースも乗馬には適しません。

体高 147 cm 以下をポニーと総称します。その中でも特に小さい品種として固定化したミニチュアホースはペットにする人もいます。

シマウマはウマ科の中でもロバに近く、鳴き声もブホッという感じです。当園にいるグラントシマウマはサバンナシマウマの中の 1 種で一番小型、発見者の名前がついています。縞模様の効用は①サバンナの草原の中で目立ちにくい②群れの中で子供が見分けにくい③他の群れから見つけやすく合流しやすいなどが知られていますが、④白い部分と黒い部分の太陽光吸収の差による温度差を利用して、空気の流れを起こし、体温調節に利用しているのではという最新の研究があります。寿命は 25 年ほどといわれています。

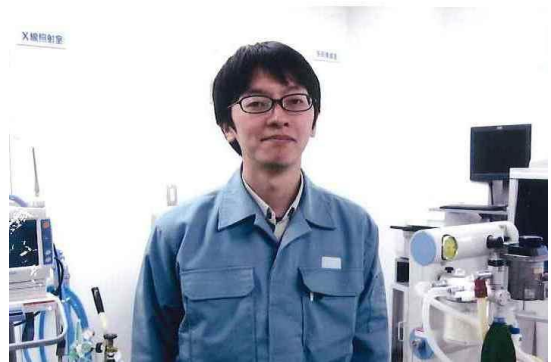
最後に豆知識・・・文具メーカーのゼブラはどこから命名されたか？中国語でシマウマを斑馬と書きます。漢字を見ると「文（具）の王様」・・・今年一年、馬の話でガイドを楽しく盛り上げましょう。

ふれあい班 高橋淑子

キーパーさん紹介

獣医師 ^{たかえす} 高江洲 昇 さん

珍しいお名前だと思ったら故郷は沖縄だそうです。はるばる北海道へ来て、学生時代は仲間とバンドを組み、キーボードを担当したそうです。そんな高江洲さんにお話を伺いました。



Q、獣医になったのは？

高校時代の生物の授業に興味を覚え、獣医なろうと思ひ獣医学部の充実している北海道大学を選びました。

大学時代に円山動物園の実習に来たときの経験が面白く、札幌市の職員になりました。3年間ほかの職場を経て円山動物園の獣医師になることが出来、今年5年目です。

Q、担当の動物はなんですか？

個人的には牛が好きですが、飼育員さんと違い獣医には特別担当の動物はいません。何かの時にはみんなで事にあたります。また最近では「アルマジロ」や「アカハナグマ」「オニオオハシ」等の検疫にあたりました。人前で話すことに苦手意識はありませんが、最近研修で講師として話す機会も多くなり、参加者に満足してもらうためには相応の勉強をしなければならないので緊張もします。

Q、仕事で気をつけていることは？

動物園では必ず動物たちの生死と向き合わなければなりません。生まれるときは動物が主役であって、飼育員と共に、よい環境を作ってあげたり、邪魔しないよう応援役になります。また死んだ時には必ず解剖し、原因を究明し動物たちが日頃快適な生活を送るために何が出来るかを考えます。

動物たちは自分の体調の悪さをなかなか表に出しません。ですから発見が難しく、症状が出てからでは手

遅れ場合があります。獣医として大切なことは、動物たちのことを一番よく知っている飼育員とのコミュニケーションだと思います。

Q、動物の治療で気をつけることは？

治療で動物を捕らえようとするときは麻酔用の吹き矢を使いますが、動物の中には警戒するものやしないものいろいろあります。特にチンパンジーは警戒心が強く、縦横無尽に逃げ回り、また賢く手先も器用で、刺された矢を自分で抜いて投げ返してくることもあるんです。

今、チンパンジーの「ハル」の足の治療については「ガチャ（母親）」との関わり他の個体との問題等むずかしいことがありますので、目下飼育員さんと調整しているところです。

Q、将来の夢は？

これからは動物園の持つ四つの役割のうち、特に教育と研究の面に力を入れたいです。大学での研究が主に繁殖だったので、人工授精や受精卵移植などを通して希少動物の繁殖に生かせたらと思っています。

お忙しい中、優しく答えてくださいました。

本当に有難うございました。

やせい班 成田 愛

市川市動植物公園訪問記

台風12号が伊豆大島に大災害をもたらした10月16日、小さな動物園を訪れました。ここには大形獣は馬と牛、サル仲間もオランウータン以外は小型のサルばかりです。肉食獣も可愛いフェネックとコツメカワウソくらしいの草食系動物園でした。驚いた事にシセンレッサーパンダが8頭もいます。6月生まれの子ちゃんも3頭いて、数日以内に一般公開されるとの事でした。サル山（ニホンザル）にも子ザルたちが沢山いて取っ組み合いしたり追いかけてっこしたり元気一杯、羨ましい光景でした。会えて最も嬉しかったのはスマトラオランウータンの一家（父「イーバン」母「スーミー」共に25才「ウータン」♂10才、「リリー」♀3才）でした。スマトラオランウータンはボルネオの仲間より更に危機的状態にあるといひます。来園する人達にその事を伝えていって、仲間の保護につなげて欲しいと思ひました。小さくても見どころのある楽しい動物園でした。

クマチカ班 山川泰弘

アフリカ中央部熱帯林における自然と人々の暮らし

～野生生物保全の現場から～

(Wildlife Conservation Society コンゴ共和国支部
・自然環境保全技術顧問：
西原智昭氏講演要旨)

(1) アフリカ中央部熱帯林⇒アフリカの気候は、サバンナ・熱帯林・乾燥地帯・湿地帯と実に多様性に富んでいます。熱帯林の中は暑くないし、寒い時期もあり、雨の殆んど降らない時期もあります。

(2) 野生生物に迫る危機⇒アフリカ中央部熱帯林には、バッファロー・ゾウ（サバンナに比べみんな小型あるいは丸みを帯びている）、チンパンジー・ゴリラ（同じ場所に生息し、争いや棲み分けはない）などの野生生物が棲んでいます。近年、生息地の減少や熱帯林の伐採、鉱物資源開発・人口増加による居住区や農地の拡大などが、彼らの生存への脅威となっています。このほか、取締当局の腐敗と汚職、熱帯林の中での道路拡大によるアクセスの容易化が密猟（象牙目的や肉目的など）を誘発するといった問題も発生しています。

(3) 先住民の生活とその急激な変貌⇒劇的に急増している伐採活動、消えゆく森と野生生物、生活環境（自然）と伝統文化・技能の崩壊、シティライフに慣れた若者、自然環境の保全などを巡り、先住民の生活にも急激な変化が訪れています。今やアフリカ熱帯林の環境保全と野生生物保全は全地球的規模で危急の課題の一つです

ワイルド班 小松 久恭

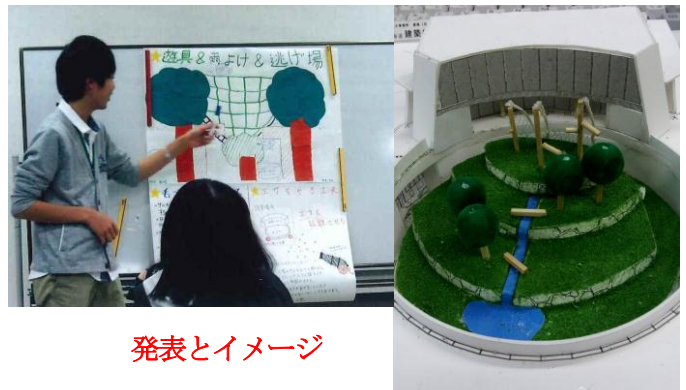
未来のサル山に向けて

老朽化したサル山の改修工事が具体化されることになり、動物園初の試みとして高校生16名が集い2週（12月14・21日）に渡るワークショップが開催されました。

サル山の前担当者、朝倉さんの助言もあり、サルたちのエンリッチメント、サル、人間共に良い環境等を4グループに分かれ、話し合い、紙に書き出し、絞っていき最後には図に表して発表しました。「餌の自動給餌機」「温泉プール」「隠れ場所としての洞窟」「タイヤを使った遊具」「川を挟んでの擬木配置」サル達が幸せになることを考えてくれました。

私が最初に見たサル山には約100頭のサル達がいきましたが、今年になり3頭が亡くなり現在は78頭です。20歳以上の高齢のサルも17頭暮らしています。一番若いサルで8才です。次の世代のサルのが気になると思いますが、サル達が新しい環境に慣れ、平静を取り戻すころには子ザルの顔も見られるのではと期待しています。

ワイルド班 田中 一江



発表とイメージ

動物捕獲訓練



ちびっこ餅つき体験



編集後記

皆様あけましておめでとうございます。

午年のスタートです。らち（埒）が開いて一斉のスタートですがゴールにはどんな結果が待っているか、神のみぞ知ります。園の3ヶ日は縁起物のプレゼントから始まりました。私達ガイドボランティアも初心に立ち返り、日常活動に励まねばと思います。向寒のみぎり皆様ご自愛ください。